

# 平成30年度 駿河台こども園 教育活動等に対する教職員自己評価

平成31年2月8日

1 こども園の教育目標 …… 明るく素直な子

- ・思いやりのある子
- ・進んで運動や遊びに取り組む
- ・自分で考え、のびのび表現できる子

2 本年度の重点目標 …… 夢中になって遊ぶ子

- 0歳児 安心して過ごす
- 1歳児 生活リズムを心と体で覚える
- 2歳児 安心できる環境の中で生活(遊び)に興味を示す
- 満3歳児 園生活(遊び)を楽しむ
- 年少児 友達と楽しく遊ぶ
- 年中児 遊びに喜んで取り組む 友達と楽しく活動する
- 年長児 進んで活動に取り組み、最後までやり通す  
感じた事・考えた事を表現する

※評価基準 4(はい、そう思う)・3(大体当てはまる)・2(あまり当てはまらない)・1(いいえ、そう思わない)・0(無回答・該当外)

(No. 1)

評価対象	評価項目	自己評価					回答数(0を除く)	評価点
		4	3	2	1	0		
1. 教育・保育の計画性	①園の教育理念・教育方針を理解している	10	19	1	0	0	30	3.30
	②認定こども園教育・保育要領の理解に努めている	3	13	8	4	2	28	2.54
	③園の教育目標や教育・保育要領を元に教育課程や指導計画を立てている	5	16	2	2	5	25	2.96
	④乳幼児の発達段階や実態などをベースに、歳児ごとの指導計画を考え作成している	8	13	1	1	7	23	3.22
	⑤子どもの生活や動き・思いを大切にして環境構成を工夫している	7	19	1	0	3	27	3.22
	⑥幼児期の終わりまでに育てたい10の姿や小学校との接続を意識している	3	12	5	0	8	20	2.90
2. 保育の在り方・子どもへの対応	①朝の登園時には特に視診を大切にし、子どもの体調が悪くないか確かめている	18	11	0	0	1	29	3.62
	②一人ひとりの思いを大切に受け止め、個に応じた支援を心がけている	16	12	1	0	1	29	3.52
	③遊びこめるような環境や時間への配慮をし、子どもの自主性・自発性を大切にしている	6	14	8	0	2	28	2.93
	④行事や活動を通して、子ども同士のかかわりや異年齢児との交流を大切にしている	12	11	5	0	2	28	3.25
	⑤教職員全員が、全園児について理解していくように工夫や努力をしている	7	16	6	0	1	29	3.03
3. 教職員としての能力や良識・適正	①教職員としての話す力や聞く力の向上を意識している	7	18	4	1	0	29	3.14
	②子どもや、保護者との対応には、公平さをかかさずに平等に接している	18	11	0	0	1	29	3.62
	③自らの健康に配慮し、爪が伸びていないか等、保育上での安全性にも気をつけている	18	11	0	0	1	29	3.62

(No. 2)

評価対象	評価項目	自己評価						回答数(0を除く)	評価点
		4	3	2	1	0			
3. 教職員としての能力や良識・適正	④教職員同士のコミュニケーションを円滑にし、片寄った人間関係を作らないようにしている	12	14	4	0	0	30	3.27	
	⑤子どものささやかな成長を見取り、それを喜ぶことができる	22	7	0	0	1	29	3.76	
	⑥園の子どものことだけでなく、自然や社会の出来事にも興味がある	7	17	4	0	2	28	3.11	
4. 保護者への対応	①子どもの様子や園情報は、直接話したり、電話・連絡帳等を使って、保護者に適切に伝える	15	8	2	0	5	25	3.52	
	②保護者との会話は、正しい日本語・敬語で語りかけ、相手の話には謙虚に耳を傾けている	8	21	1	0	0	30	3.23	
	③園児や保護者の個人情報の管理については園の方針に従い、情報が流失しないようにしている	26	4	0	0	0	30	3.87	
	④保護者からの具体的な意見・要望には適切に対応し、上司に連絡・報告・相談をする	24	4	0	0	2	28	3.86	
5. 地域の自然や社会との関わり	①園へ見学に来た人に、園の教育方針等を質問されても、きちんと答えることができる	4	12	13	1	0	30	2.63	
	②子どもの教育のために、利用したい地域の施設や機関、素材について理解している	0	12	13	2	3	27	2.37	
	③地域開放や子育て支援について、具体的な内容を理解している	2	8	17	1	2	28	2.39	
6. 安心と安全	①ヒヤリハットの事例については振り返りを行い、大きな事故につながらないようにしている	6	19	2	0	3	27	3.15	
	②安全点検、検食、訓練等は適正に実施対応し、安全意識・防災意識を高めている	10	14	5	0	1	29	3.17	
7. 研修と研究	①遊びと生活の専門性(職務の専門性)を高め、知識や技能を身につけるよう研修している	5	15	5	0	5	25	3.00	
	②日々の実践を見合い検討・反省・評価を加え、教育・保育の質の向上に繋げている	8	16	3	0	3	27	3.19	
	③自分の教育・保育の在り方や悩みについて、同僚の教職員や上司等と話し合っている	6	21	3	0	0	30	3.10	
	④専門知識や技能の他に、趣味や読書・ボランティア活動などにも関心をもっている	5	16	6	1	2	28	2.89	

<こども園の教育・保育をより充実していくための提言> 厳選・削減したいこと、充実・改善したいことを記入ください。